

令和4年度みどりの食料システム戦略推進交付金のうちグリーンな栽培体系への転換サポート

# 産地戦略

事業実施主体名： J A 愛知北水田作協議会

都道府県名： 愛知県 対象品目： 水稻

策定年月： 令和5年3月 目標年次： 令和9年

※事業実施計画における目標年度の翌年度から5年目とする。

## 環境負荷軽減の取組

	化学農薬の使用量低減		化学肥料の使用量低減		有機農業の取組面積拡大	○	温室効果ガスの削減 (水田からのメタンの発生抑制)
	温室効果ガスの削減 (バイオ炭の利用)		温室効果ガスの削減 (石油由来資材からの転換)		温室効果ガスの削減 (プラスチック被覆肥料対策)		温室効果ガスの削減 (CO2、N2Oの排出削減)

第1 事業実施地域の現状と目指すべき姿

1 事業実施地域

愛知県犬山市（犬山地区）

2 事業実施地域の現状

本地域は、都市化が進展しており区画が小さいほ場が多い。一方で地域の中心的担い手により多数の水田が管理されている。環境負荷軽減や省力化に係る課題については、①温室効果ガス削減のため水田からのメタンガス排出量を削減する必要があること、②近年、斑点米カメムシ類の発生が多い傾向にあり中心的担い手の防除作業に係る省力化を図る必要がある。

3 事業実施地域の目指すべき姿

①温室効果ガス削減については中干しの延長及び秋耕技術の導入を推進し、②斑点米カメムシ類の防除作業の省力化についてはドローンを活用した技術の導入を推進することで、環境にやさしい栽培と先端技術等を活用した省力化を実現する。



2 新たな栽培体系の普及に向けた目標

ア 省力化目標

指標		年度	R4 (現状値)	R9 (目標年次)	増減率 (%)	備考
1	ドローン防除		52.2	14.3	▲73%	検証で得られたデータを記載した
	単位 (分/ha)		(乗用管理機)	(ドローン)		

※増減率は 目標値/現状値-1 =増減率 で算出。

イ 普及を目指す面積

(単位: ha)

指標		年度	R4 (現状値)	R9 (目標値)	増減率 (%)	備考
対象品目全体の作付面積(ha)			392	392	0%	
うち、グリーンな栽培体系に取り組む面積(ha)	ドローン防除 中干しの延長 秋耕		0.2	30	14900%	
普及割合			0.1%	7.7%		

※増減率は 目標値/現状値-1 =増減率 で算出。

※R4のグリーンな栽培体系に取り組む面積(現状値)は、R4実証で環境にやさしい技術(中干しの延長と秋耕いずれか小さい方)と省力化技術(ドローン防除)に取り組んだ面積のいずれか小さいものを記載

第3 関係者の役割分担及び取組内容

構 成 員	役割分担及び取組内容				
	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (目標年次)
愛知県 (普及組織：尾張農林水産事務所)	グリーンな栽培体系の技術指導				
JA愛知北	グリーンな栽培体系の栽培暦への反映				
	グリーンな栽培体系に係る周知啓発				